

2011年スタート

日本の川を泳ぐ旅



第3弾 仁淀川(高知県)

～ 四国一の水質が自慢のリバーツーリズム天国～

2011年8月

「日本の川を泳ぐ旅」の第3弾は、愛媛・高知両県を流れる1級河川の仁淀川。全国的に有名な四万十川の横に位置するため知名度は十分ではないが、その清らかな水質は連続して四国第一位。「四国で泳ぐなら仁淀川」という地元四国の方々のアドバイスに魅かれて遂に仁淀川泳ぎが実現しました。

仁淀川プロフィール

仁淀川は、その源を愛媛県の石鎚山系に発し、蛇行を繰り返しながら多くの支流を集め、高知県土佐市で太平洋へと注ぐ1級河川。流域内人口は約10万人。国の平均水質ランキングで四国一位を連続して獲得する程の美しい川で、四万十川と同じく、川遊び、水泳、釣り、カヌー、キャンプとリバーツーリズムのメッカ的な存在です。



仁淀川中流部（2011.8.8撮影）



いの町の親水エリア（2011.8.8撮影）



地図出典：国土交通省河川局

泳いだ区間のご紹介





底が見えずに背筋が凍る淵に恐る恐る接近。



淵の手前から清流泳ぎをスタート。



透明度抜群で小魚もたくさん発見。



急な流れに体を乗せるように泳げば、大きな岩も自然に避けてくれる。



しばらく行くと急な浅瀬が出現し遊泳区間の終了。



面河川で泳いだあとはウェットスーツの天日干し。



一気に水量も増し、憧れの仁淀川本川での川泳ぎ。ほぼ横断的に均等な流速の流れ。



下流から上流に遡上を試みるが、歩くよりも遅いくらいのスピードに苦戦。



下流に片岡沈下橋を望む。四国の川を象徴するかのような素敵な風景。



仁淀川泳ぎを終えて気分爽快の記念撮影。

最後に……

「いつか、この川でも長距離水泳マラソンを！」が友人との共通の感想。急勾配やそれゆえの発電ダム群の存在等々、四万十川とはまた異なる個性をもつこの仁淀川を、次回はもっと堪能できればと思います。